

高張力による

ケーブル撤去装置

特許取得 第2973117号

短時間

低コスト

安全

確実

最近、地中送配電設備の中に何らかの理由で引抜不能状態になり管路内に残ったケーブル（残置ケーブル）が、管路の有効利用のため見直されています。引抜不能の原因として管路の段差、ケーブルの膨潤でケーブルシースと管壁の膠着などが考えられます。それに加え引込用Uボルトの経年劣化もあり、ケーブル引抜きを一層難しくさせています。今回、最高張力25トンのシリンダーと界面活性剤を用いたケーブル撤去装置を開発しました。



ケーブル撤去装置の特徴

- ・ 人孔内既設Uボルトを使用せず反力を支保材で人孔スラブ・ベース面を取っている
- ・ 反力を支保材で取っているため、Uボルトの腐食に関係なく施工が可能
- ・ 引抜ケーブルが管路口から20cm以上出ていれば引抜が出来る
- ・ 油圧シリンダーの使用と鋼材の固定のため、装置やケーブルが跳ね上らず他のケーブルを損傷させない
- ・ 界面活性剤の使用でケーブルと管壁の膠着を軽減

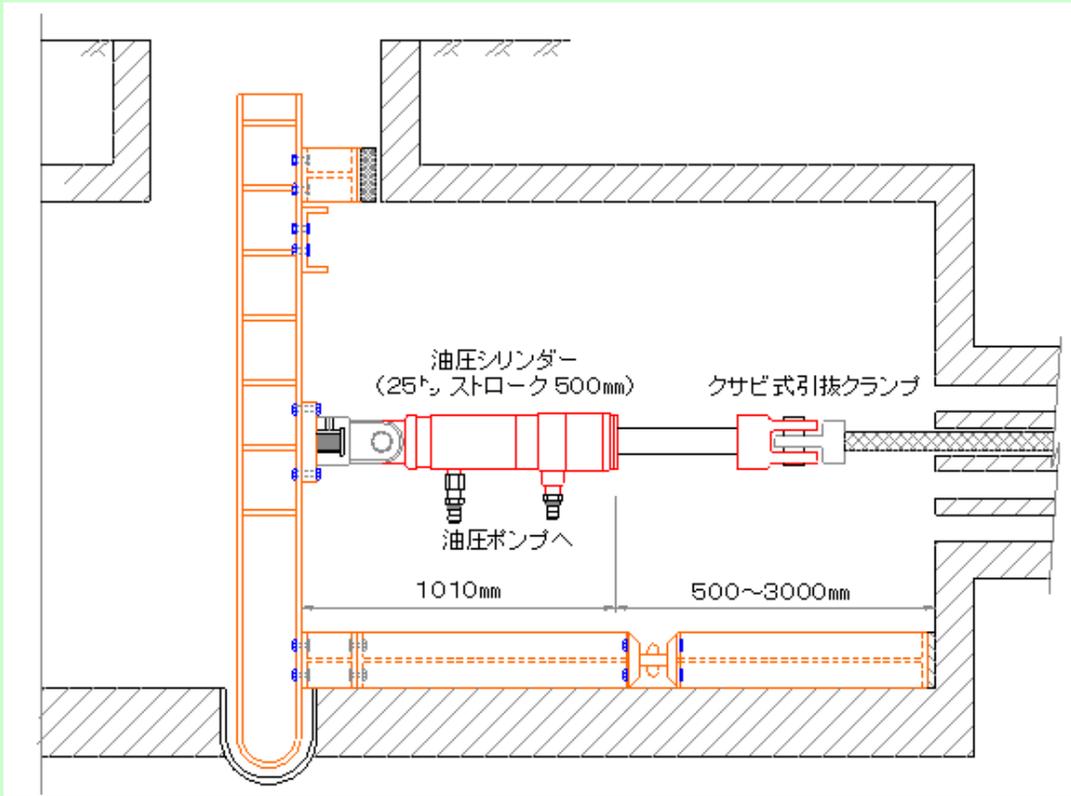
■ 管路内状況



■ 仕様

項目	仕様・性能
油圧シリンダー	10～25トン
ストローク	500mm
油圧ポンプ	二段噴出型ポンプユニット・最高圧力 700kgf/cm ²
監視カメラ	4ヶ所同時監視（ズーム1ヶ所）

■人孔内断面図



■人孔内平面図

